

宮島で木刀なんか買うなよ。昔、京都(修旅)の引率中、木刀買った班に遭遇、危ないで預かり。預かたのはいいい、
スーツ着のいい大人が木刀持て京都市内を歩くという。これは罰ゲームですか(泣)ってぐらい恥づかしかった。

自問自答

その20

発行人:



令和5年9月8日(金)

広島市立己斐上中学校 進路通信

最近、ボシが枕の上で
寝るの、みーに
頭があつて寝苦しい



一步を踏み出す勇氣

夏休みなんて遠い過去の話みたいじゃないですか？

軽キャンピングカーでのキャンプが夏の思い出、になるはずが

諸事情によりキャンプはキャンセル。唯一の夏の思い出が「目玉焼きを作ってみたら、人生初の三つ子の卵だった。」だけって、,,いや、それはそれですごい確率だけでも。

さて、先日の全校朝会で校長先生から学校教育目標についてのお話がありましたね。「一步を踏み出す勇氣」のお話。これはね~,しっかり心に留(とど)めとき。小さな一步(勇氣)がその後の人生を大きく変える,「ホントやってみて良かった~(^^)」ということは人生において実によくあります。

その逆に「あ~,あの時やってみればよかった,,(;_;)」という後悔もよくあるのがこれまた人生。皆さんは自分でどちらの人生を歩むか、選ぶことができるんですよ~。

とにかくやってみることじゃない? やってみて上手いけば「自信」がつきます。やってみて上手いかなくても「経験」が残ります。このやり方では上手いかなかった,という経験が。そして次はこうやってみよう,につながります。これが「やってみて損はないよ」と言われる所以(ゆえん:理由)です。

ちなみに旅に出て、細い路地裏に入っていくのは,「一步の勇氣」というより「無謀(むぼう)な一步」と呼ばれることが、国によってはしばしばありますのでご注意を。相手からすれば、カモがネギを背負ってくる,というあれです。ネギどころか、鍋まで背負って何とまあありがたい、ハイ、お金、カメラ、貴重品を頂きます!ということも無きにしも非(あら)ず、です。そういう時はヘタに抵抗しないのが鉄則。さっさと渡して身の安全を最優先にしましょうって、受験生向けの進路通信でのアドバイスじゃないですか。

なんてことを書くと、旅になんか出るか~ってなってしまうそうですが、上の話は、限られたエリアの、限られた時間帯の、限られた「いかにも,,」って雰囲気的路地裏のお話なので近づかなければ大丈夫です。通常であれば、路地裏こそ面白い店があったり、ガイドブックにはない発見があったり、曲がって、曲がって、まだ大丈夫、まだ来た道覚えてる,,って、気がついたら完全に方向を失い、誰がどう見ても「迷子やろ」ってなったり、路地裏は大変魅力にあふれています。方向音痴なくせに、つついり入りたいくなる私。

さて、一步と言え、これは全員に踏み出して欲しい小さな、いや、どれだけでかてもいいぞ、大きな一步を踏み出せよ。10月4日(水)が3回目の、そして最後の実力テストです。(範囲は近々配布します) この3回目の実力テストの結果は、進路決定(特に公立)に向け大いに参考になるものです。ちなみにそこから1か月後の11月7日~はⅡ期末定期テストです。ここで出てくる成績が、私立専願が可能かどうか(あくまでも成績ではどうか、の話ですよ。生活面…進学しても継続して学ぶ準備がしっかりできているかどうか、は別の話です)に大きく関わってきますので、準備はお早めに!!

出発前、あなだけ「広島^{あな}の雪とは質が違^{ちが}う!! フカフカ、さらさらの雪だ。楽しみにしてや」と先^{さき}から言^いわれた^あに、到着^ついたら
現^{げん}地の^あなが「この時期^{このとき}にこんな天気^{あま}、何^{なん}十年^{じゅうねん}ぶり^{ぶり}かのう^うって言う^いぐらいの雨^{あめ}でべ^べち雪^{ゆき}。広島^{あな}の方がま^まだマシ^{まし}じゃーが

自問自答

その21

令和5年9月12日(火)

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人: 2年生が修学旅行へ。ちなみに
私が井口高校生だった時の行き先は
長野県へのスキー修学旅行。欄外へ続く



ついに時代がバックパッカー
に追いついたか?!

30年前、先生になるにあたって設定した裏?テーマ。それは
「バックパッカーの育成」。

広島県の採用試験に合格した後の研修会、「あなたはどんな
生徒を育てたいですか?」という問いに「バックパッカーですね。」と答えて一瞬周りを「???」状態にさせ
たことが懐かしい。バックパッカーと答えたその真意はこうだ。

- ・何れともあれ「前向き・ポジティブ」に物事をとらえ、困難を笑いに変えることができてほしい。
- ・自分の思い通りに事が進まない時、不平不満を言うぐらいなら、次の一手を考え行動してみてほしい。
- ・相手が誰であろうと、相手のことを理解しようとする心の広さをもってほしい。国や文化の違いを否定
するのではなく、「そういう見方もあるのか!」と捉(とら)え、思いやりの気持ちを忘れず接してほしい。
- ・世界レベルで見たとき、日本がどれだけ環境・チャンスに恵まれているかを知り、自分がどう生きていくの
か自問自答できる人であってほしい。

あれから30年の時が流れたわけだが、先日 9/6 の中国新聞にこんな記事が出ていた。

「一人旅」研修の効用 ～頼りは自分だけと腹くくる～ 山陰パナソニック人材戦略部 船井亜由美さん

記事を要約すると、山陰パナソニックの新入社員研修として、新入社員に「一人旅」を課しているというも
の。言われたことをこなす姿勢にとどまらず、社会の課題を自ら見つけ、解決する力を求めています、と。

一人旅ならそういう力が磨けるという思い(私も同意します!)から、この研修会を企画したらしい。5日分
の「青春18きっぷ」(全国のJRの普通列車が1日2410円で乗り放題という優れもの切符)に加え、宿泊
や食事などの経費として1日あたり1万円が支給され、超えた分は自腹(笑)、らしい。

更に、「毎日、見ず知らずの10人以上に話しかける」、また、安否確認と復命書(いわゆる報告書。会社
というところは、出張に行くと報告書を書かねばならないのだ)がてら、SNSで1日3回以上、旅日記を投稿
するという課題があるとのこと。

どうだ? 近い将来、君らが就職する会社にもこんな研修があるかもよ。または、そういう研修がある会社
を探すのもいいんじゃない?

わしも山陰パナソニックに就職しようかなあ(-.-)y~

「部長!! 新入社員の増尾が5日たっても帰ってきません!! っていうか、国内だつってるのに、パスポ
ートを持って空港に向かっていたという情報が!! 昨日あがった投稿に写ってた河、あれ、どうやらガンジス河
みたいですよ!! 毎日見ず知らずのインド人100人以上と話してるみたいで、,,、っていうか話しかけられてるみ
たいですが、どうします? ちなみにまだ4万残ってるから当分帰れないって。」「…… ほっとけ,,、(-_-メ)」

スミに男の子(女の子の方が多かった)の教え子がパッカーデビュー。大学3年生の彼はこの夏休み東南アジアをまわってめちゃめちゃ楽しかったらしい。帰国したら飲もうってことで再会するのが楽しみ。君とも卒業後に再会するのには君らが旅から帰ったときな。

自問自答

その22

令和5年9月14日(木)

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人:先日シャレオを歩いていたら、スミ違いで男に「マスオ先生!」と声をかけられめちゃ驚いた。何と20年前の教え子でした…。



しっかり読め。
何度でも読め。

教育相談も終了し、いよいよ進路決定に向け終盤を迎えます。

あれだけ言ってもオープンスクールに1校も行かず、という人がいるのは不思議ではながないが、,,行き当たりばったりのパッカーの私ですら、自分が行くことになるかもしれない高校(私立)ぐらいは、自分の目で見てから決めるけどなあ。通学方法の確認や、かかる時間、学校の雰囲気、コース内容とか、確認することいっぱい。何しろ自分の進路だからな。

★これからの見通し★

- ・10月4日(水)…第3回実力テスト
- ・11月7日(火)~9日(木)…Ⅱ期末テスト & 模擬面接実施(グループ面接やります!!)
- ・11月28日(火)~12月1日(金)…進路懇談…受験(受検)校の最終確認です!!

そう、上記の3つ目、進路懇談、ここでは受験(受検)校の最終確認をするのです!! 私立は〇〇を受けますね、専願を希望するのですね、公立は〇〇が第一希望ですね、では、いついつから出願手続きを行ってくださいね(今年度も出願は各家庭からのネット出願になります!),という最終確認の懇談会なのです。

この懇談会は「どうする? どこ受ける?~ じゃあ年内ぐらいには決めておいてね♡」なんて時期じゃないのです。どうしても決めかねている場合は、10月30日(月)~11月1日(水)の期間で「予備懇談会(希望者)」を行います。ここで、Ⅱ期末テストの結果(成績)が〇〇だったらこの学校、△△だったらこちらに変更、などの確認を行います。

なっ、そういう時期になって「(オープンスクールに)行ってないからどこ受けたらいいかわかりません。」と言われても、私にもわかりません(泣)。行ってない人に「ここはどう?」と言ったところで分からんもんね。その場合は事務的に成績だけで話をするのが精いっぱい、かな。

それから最後に1つ。公立高校な。昨年度の倍率なんて気にしないでいいからね。あなたが見た倍率はあくまでも昨年度の話であって、今年度どうなるかは誰にもわかりません。あと、さすがに「去年の倍率を見たけど楽勝~!! 勉強なんてしなくても余裕余裕」なんてほざいている「たわけ者」はいないと思うが、念には念を入れて書いておこう。

もしかしたら今年度は倍率が上がるかもしれないし、例え上がらなかったとしても、私が「たわけ者」と呼ぶ理由は、上記のようにほざく人は「入学することをゴール」と捉えているからだ。カン違いするなよ。「入学」はゴールじゃない。入学してどんな3年間を過ごすのか、が重要であって(だからできるだけ自分に合ったところへ進学してほしい)、今はそのための準備をコツコツとやっているのだ。「人生は準備がすべて」と言ってもいいぐらい、準備が大切なのだ。と準備なしで旅に出るパッカーが力説するというこの矛盾。